

EXPERIENCE KESEN

~ Kesen Excites People's Spirit of Romantic Adventure ~

皆様方には、復興に向けた取組において、国内外から多大なるご支援と励ましを賜りましたことに対し、御礼申し上げます。

今後も復興に取り組んでいきますが、東日本大震災津波で破壊された地域の真の再生のためには、地域の歴史と文化に学び、これを未来に伝える努力をすることが大切だと考えます。そこで、この紙面を通じて、歴史文化観光地としての気仙地域の魅力をお伝えしたいと思います。第1弾は気仙の伝統建築である「気仙大工」です。

気仙地方とは？

岩手県南東部の「旧気仙郡」を指す。

現在の市町村名では沿岸部の大船渡市、陸前高田市、山間部の住田町である。

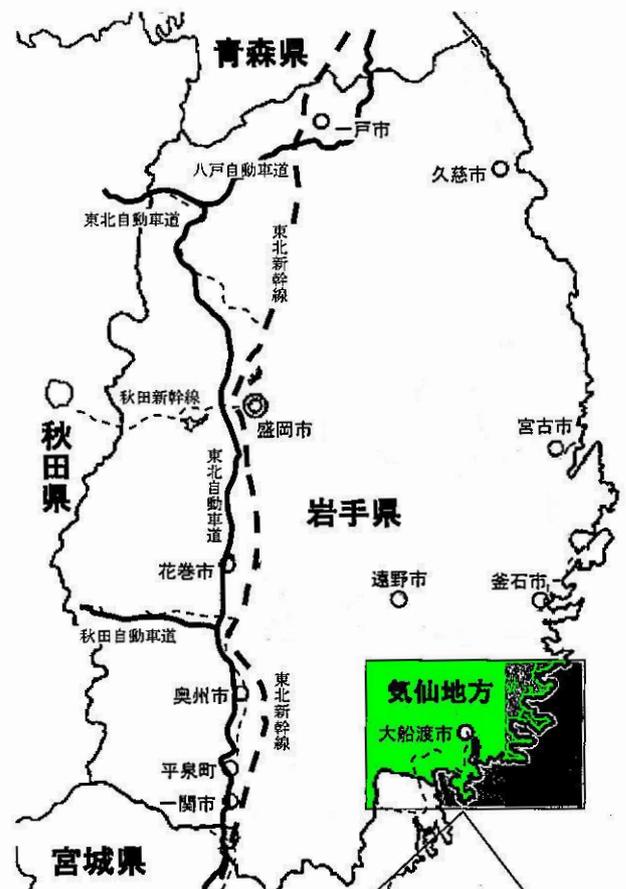
太平洋に面して渚に連なる細長い温暖な気候の集落は、豊かな黒潮の恵みと、時には津波によって悲劇がもたらされるが、めげることなく復興を遂げてきた。

気仙地方は山林資源にも恵まれ、「気仙杉」や「五葉桧」、赤松などの良材が産出する。これが気仙大工・船大工の出稼ぎと一体となって市場を獲得してきた歴史をもつ。

気仙大工とは？

江戸時代から「南行き」と称して、領内に出稼ぎを繰り返してきた大工集団である。

- (1) 家大工と宮大工
家大工でありながら、堂宮も造る「墨矩」（すみかね）の技術（規矩術）（きくじゅつ）を持つ者もいた。
- (2) 通年的出稼ぎの効果
通年的出稼ぎで腕を磨き、市場性を高め、地方文化の導入者となった。
- (3) 仕事の範囲
造作の範囲は広く、建築のみならず、家具・建具・彫刻まで、木に関することなら何でもこなす技術を修得していた。
- (4) 気仙大工が扱った木造建物（一例）
 - ① 神社・仏閣
永久性・荘厳性が重要視される
 - ② 民家・商家
実用性・機能性のほかに、美観・堅牢で快適な住まいが望まれる。



今も残る気仙大工の仕事

気仙大工伝承館

気仙大工左官伝承館とは、気仙大工左官の優れた建築技法を後世に伝えるために建設されました。

明治初期の気仙地方の民家を想定し、当時の建築様式により、材料は全て気仙杉など地元材を使用しています。母屋は木造平屋建茅葺で大黒柱や丑もち梁は太い材料を使用し、重厚な小屋組と広々とした間取りは往時の人々の生活を偲ばすものです。

住所 〒029-2207

岩手県陸前高田市小友町字茗荷1-237

TEL 0192-56-2911

ウェブサイト <https://sites.google.com/site/kesendaikusakandenshoukan/>

入場無料

トイレ

売店



長安寺山門

大船渡市日頃市町にある長安寺山門は総檜造りの高さ20メートルにも及ぶ気仙大工最高の遺構である。

山門は寛政10年（1798年）に着工したものである。総檜造りであるが、この時代、檜は伊達藩のお止木であった。そんな檜を使用し、かつ、仙台にもない高樓を建てたため、藩主に背くものであるという理由で、再三とりこわしを命じられた。

しかしながら、廓念坊秀諦師がとんちをきかせ、とりこわしは免れたが、以後は一切手をふれてはならぬということで許され、その為、今日まで袖なし、ひらきなしの山門となっている。つまりこれでもまだ未完成なのです。

住所 〒022-0005

岩手県大船渡市日頃市町長安寺 5 7

普門寺

陸前高田市米崎町にある奥州三十三観音二十九番礼所。本堂は明治10年（1877）年再建、気仙寺院の標準型となっている。境内には県内最大木で県指定天然記念物のサルスベリがある。裏には高さおよそ12.5mの三重塔(岩手県の文化財)が立ち、唐金の大仏様も祀られている。

三重塔、大仏、仁王像を配した庭園と巨大な杉並木があり、初夏にはツツジも咲き乱れる。庭園の三重塔(県の文化財)は文化6年（1809）に造られた木造銅板葺の建物である。

住所 〒029-2206

岩手県陸前高田市米崎町字地竹沢 1 8 1



今も残る気仙大工の仕事

千田家お御堂

三陸町綾里の千田家には江戸期中期建築のお御堂と呼ばれる持仏堂がある。ぜいを尽くした間口七・二メートル、奥行十メートルの総ケヤキ造り。正面に向拝を設け、縁を回し両面彫りの欄間、内庫には須弥壇、厨子には金色の阿弥陀如来立像が安置されている。

この立像には「木仏安置 御免 元禄十五（1702）年四月二十九日」のお墨付きがある。千田家五代の仁兵衛が、京都・東本願寺に依頼していた立像を引き取りに上洛、半年かけて綾里に背負われてきた。仏師は千田家依頼の注文書に「大仏師 左京康次」と署名した花押がある。



お御堂外観

住所 〒022-0211 岩手県大船渡市三陸町綾里砂子浜 4 8



釘を使わない総樫つくりの観音開の扉

～【気仙ご当地グルメ】～

大船渡さんまラーメン



全国有数の水揚げを誇る大船渡のさんまをラーメンにアレンジした大船渡のご当地グルメです。

市内7ヶ所の店で食べることが出来ます。

特にこのさんまラーメンは、注文を受けてから1枚1枚さんまのみりん干しを焼いて、醤油ラーメンに乗けたもの。

みりん干しの身をほぐしながらスープと混ぜるとさんまのダシがスープに溶け込んでコクと風味が増します。

提供する碁石海岸レストハウスは、地元のお土産を揃えています。食堂では、大船渡山の海や山の幸を使った「健康食・椿寿料理」や、アワビ、ホタテをふんだんに使ったメニューも提供します。周辺には市立博物館、世界の椿館・碁石などの施設もあり、四季を通して楽しむことができます。

☆参考文献☆

- 気仙大工左官伝承館作成 気仙大工左官伝承館パンフレット
- 気仙大工研究所 平山 憲治著「気仙大工」概説
- (社)岩手県建築士会気仙支部作成「岩手けせん匠の里」HP
(<http://www.epix.co.jp/kesendaiku/takuminosato/index2.html>)

【編集後記】

この度、独自の視点から英語で管内の観光情報を発信することとしました。初めての試みなので、是非ご意見・ご感想などお寄せください。

次号予告・・・

次号は気仙地方の黄金史などを中心に掲載します。お楽しみに！

Experience Kesen Vol.1

発行：岩手県大船渡地域振興センター 編集：熊谷

TEL：+81-0192-27-9911 E-mail：BG0001@pref.iwate.jp